

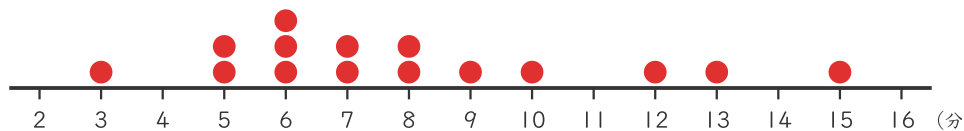
こたえ

代表値をもとめよう

ひょうじゅん ①

- 1 15人の通学時間（分）です。ドットプロットに表して、代表値をもとめましょう。

3 5 5 6 6 6 7 7 8 8 9 10 12 13 15

平均値 8 分 さいひんち 最頻値 6 分

中央値 7 分 いちばん長い時間といちばん短い時間の差 12 分

- 2 つぎのデータの平均値、さいひんち最頻値、中央値をもとめましょう。

データ	平均値	さいひんち 最頻値	中央値
2、3、3、4、8	4	3	3
5、6、6、7、8、10	7	6	6.5
10、20、20、30、40、60	30	20	25
1、1、2、3、5、6、10	4	1	3

- 3 ①のデータで、通学時間が「ふつう」といえるのは、何分くらいですか。代表値を使って説明しましょう。

(れい) さいひんち最頻値が6分、中央値が7分なので、6～7分くらいがふつうといえる。平均値の8分は、時間が長い人の分だけ大きくなっている。

おうちの方へ

- 平均値は、とびぬけて大きい（小さい）値があると、その値に引っぱられます。そのようなときは、中央値や最頻値のほうが、ふつうのようすを表します。
- ①：合計 $120 \div 15 = 8$ 分。小さいじゅんの8番目が7分。いちばん多いのは6分（3人）。